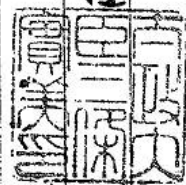


伺、趣聞届候事

明治十年九月廿六日



甲第貳拾貳号

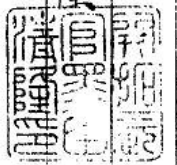
屯田豫備兵條例制定ノ義伺

西隣賊勢猖獗ノ際近衛及各鎮臺常備兵總テ操
出相成候ニ付更ニ豫備兵招募ノ義願議決定ノ
上新撰旅團編成相成當使ニ於テモ屯田豫備兵
トシテ一大隊招募既ニ東京ハ差出シ專ラ演習
為致置候處頃來賊勢日々窘蹙ニ趨キ右出張ニ
及サルニ付不日歸籍為致候苦ニ有之然ルニ將
來警備ノ為屯田豫備兵條例ヲ制定シ該兵ノ名
稱ヲ存シ置粗々後備軍ノ制ニ倣ヒ他日緩急召
募ノ便ニ供シ度尤モ該兵滯京中ハ操練等非常
ニ勉勵頗ル熟達致候間緩急其用ヲ為スハ必然
ニ候條至急御裁可相成候様仕度別紙條例案相

副此段相同候也

明治十年九月十四日

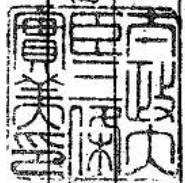
陸軍中將兼開帳長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿

伺趣聞届候條附箋通改正可
致事

明治十年十二月廿七日



屯田事務局

屯田豫備兵條例別紙之通相定候條此旨相達候事

明治十年九月

陸軍中將兼開帳長官黒田清隆

屯田豫備兵條例

第一條

屯田豫備兵ハ平素自家ニ在テ産業ヲ營ミ戰時或ハ非常ノ節臨時召集シ屯田兵ニ加ヘ服役セシム、尤毎年十二月ヨリ翌年四月ニテノ内便宜ノ地ニ召集シ其技ヲ演習セシムヘシ

第二條

豫備兵ハ一大隊ヲ定數トシ關負アル者之レヲ降ク
撰ンテ之ヲ補
但シ其關負ヲ招募スル際若陸軍徵兵ニ相當スル者アル之レヲ降ク

豫備兵ハ豫メ服役ノ年限ヲ定メス又其年齡ヲ問ハス
兵後ニ堪ル者ヲ以テス

兗田豫備兵條例

第一條

屯田豫備兵ハ平素自家ニ在テ産業ヲ營ニ戰時或ハ非常ノ節臨時召集シ屯田兵ニ加ハ服役セシム、尤毎年十二月ヨリ翌年四月ニテノ内便宜ノ地ニ召集シ其技ヲ演習セシムヘレ

第二條

豫備兵ハ一大隊ヲ定數トシ闕員アル時ハ有志ノ者ヲ
選シ之ヲ補フヘシ

第三條

豫備兵ハ豫メ服役ノ年限ヲ定メス又其年齡ヲ問ハス
兵後ニ堪ル者ヲ以テス

第四條

豫備兵ハ別ニ駐在士官ヲ設ケス地方廳ニ於テ之ヲ管理シ分署在勤官員ヲシテ兼掌セシムルモノトス

第五條

豫備兵ノ演習ハ年々屯田本部ヨリ十日以前ニ其期日ヲ布達シ分署官員ヲシテ之ヲ督セシムヘシ尤本部士官派出シテ演習セシムルコアルヘシ

第六條

病氣或ハ事故アリテ演習ノ節出場致シ難キ者ハ其事由ヲ詳記シタル書面ヘ區戸長ノ與書証印ヲ受テ其筋ヲ經テ屯田本部ヘ届出ヘシ

第七條

演習中ハ日給ヲ與ヘ食料被服類モ總テ官給タルヘシ

第八條

服役中他管ヘ旅行セントスルモノハ管轄廳ノ許可ヲ受テ其事由ヲ屯田本部ヘ届出成文ヲ演習期限ニ後レサル様帰着スヘシ

第九條

服役中他管ヘ轉籍スハ管内ニ轉居スルモノハ戸長ノ証印ヲ受テ其筋ヲ經テ屯田本部ヘ届出ツヘシ

第十條

服役中老衰疾病又ハ已ムヲ得サル事故アリテ免役ヲ願出ル者ハ親戚ノ者ヨリ其事由ヲ詳記シタル書面ヘ區戸長ノ與書証印ヲ受テ管轄廳ヲ經テ屯田本部ヘ願出ヘシ

但疾病ノ者ハ願書ハ醫員ノ診断書ヲ添フヘシ

第四條

豫備兵ハ別ニ駐在士官ヲ設ケス地方廳ニ於テ之ヲ管理シ分署在勤官實ヲシテ兼掌セシムルモノトス

第五條

豫備兵ノ演習ハ年々屯田本部ヨリ十日以前ニ其期日ヲ布達シ分署官實ヲシテ之ヲ督セシムヘシ尤本部士官派出シテ演習セシムルコアルヘシ

第六條

病氣或ハ事故アリテ演習ノ節出場致シ難キ者ハ其事由ヲ詳記シタル書面ヘ區戸長ノ與書証印ヲ受ケ其筋ヲ經テ屯田本部ヘ届出ヘシ

第七條

演習中ハ日給ヲ與ヘ食料被服類モ總テ官給タルヘシ

第八條

服役中他管ヘ旅行セントスルモノハ管轄廳ノ許可ヲ受ケ其事由ヲ屯田本部ヘ届出成式々演習期限ニ後レサル様帰着スヘシ

第九條

服役中他管ヘ轉籍又ハ管内ニ轉居スルモノハ戸長ノ証印ヲ受ケ其筋ヲ經テ屯田本部ヘ届出ツヘシ

第十條

服役中老衰疾病又ハ已ムヲ得サル事故アリテ免役ヲ願出ル者ハ親類ノ者ヨリ其事由ヲ詳記シタル書面ヘ區戸長ノ與書証印ヲ受ケ管轄廳ヲ經テ屯田本部ヘ願出ヘシ

但疾病ノ者ハ願書ハ醫官ノ診斷書ヲ添フヘシ

開拓使

第十一條

服役中官途ニ採用セラレシ者ハ其筋ヲ經テ屯田本部ニ届出ヘシ

第十二條

服役中死亡ノ者ハ親戚國ハノ者ヨリ其年月日時日ヲ詳記シタル書面ヲ差出シ其筋ヲ經テ屯田本部ニ届出ヘシ

第十三條

豫備兵員ニハ人別簿ト引合セ左式ノ如キ厚紙ノ割符ニ其姓名住所等ヲ書載シ人別簿ト割印ヲ為シテ之ヲ附與スベシ

用紙西ノ内

五寸

川 中		割印年
日	月	年
開	拓	使
兵	種	番
兵	種	番
何國何郡所住居何族職業		
親名何男或ハ凡叔伯名第幾ノハ厄奴力		
右屯田豫備兵申付候事		

第十一條

服役中官途ニ採用セラレシ者ハ其筋ヲ經テ屯田本部ニ届出ヘシ

第十二條

服役中死亡ノ者ハ親戚縁類ノ者ヨリ其年月時日ヲ詳記シタル書面ヲ差出し其筋ヲ經テ屯田本部ニ届出ヘシ

第十三條

豫備兵員ニハ人別簿ト引合セ左式ノ如キ厚紙ノ割符ニ其姓名住所等ヲ書載シ人別簿ト割印ヲ為シテ之ヲ附與スヘシ

用紙西ノ内

五

寸

日 月 年		割印
開	拓	使
兵	種	番
何國何郡所住居何族職業		親名何男或ハ元叔伯名第幾又ハ厄奴カ
右屯田豫備兵申付候事		

甲第貳拾三号

札幌神社八年度額外常費增額御渡之儀伺

當使管内札幌神社明治八年度額外常費同平十二月八日
御達、内給與、部仕拂向精々節減候得共社用ニ付宮
司東京へ往返及郷里遠隔、者任免等ニテ別記、通不
足相立候間右不足、分同年度増費トシテ御渡相成度
依テ明細仕譯書相添此段相同候也

明治十年十月十二日

開拓長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿

同趣間届金百八拾壹圓貳拾貳
銭五厘該社額外常費増費トシテ

第百九号

開拓使